ツクモノダケ括弧内ニ和名ヲ入レテ註トシテ見タ。

第2ノ手紙ハ圖ノ通リデコレハ吉永虎馬氏ノ令兄吉永悦郷（ヨシサト）氏ガあついたノ標本ヲ送ラレタ時ノ返事（1889年）デ、吉永先生御祕藏ノ現物カラ寫眞シタモノデアル。吉永悦郷氏ハコノ前年即チ1888年ニ植物學雜誌第2巻138頁ニ「土佐ノ一羊齒」ト題シテ圖版入リデコノ植物ヲ報告シ大久保三郎氏モ「其 *Acrostichum* ナル事疑ヒナシ然レ共其何種ニ屬スルヤ未詳ナラズ或新種ナラン」ト附記サレテキル。イートン氏ハコノ手紙ノ樣ニあついたハ *Acrostichum conforme* ノ實葉ノ小形ナ一型デアルト云フ吉永氏ノ考ヘニ贊成シテキタ。併シ其後あついたガ矢田部良吉氏ニヨツテ同誌第5巻109頁ニ *Acrostichum Yoshinagæ* ナル新種トシテ發表サレテキルノハ御承知ノ通リデアル。因ニ吉永悦郷氏ハ高知縣ノ方デ植物學雜誌ニハ第1乃至4巻頃盛ニしだ類ニ關スル記事ヲ載セ主トシテ土佐產ノモノヲ取扱ツテキルガ其後6, 18巻ニモ出シテ居ラレル。同誌第1巻106頁ニ「アスプレニユムノ一種」ノ題下ニ「牧野富太郎氏ノ別ニ植物標本ヲ米國ニ贈ルニ會シ之ト一緒ニ同國人イートン氏ニ贈リテ之ヲ質問セリ」云々ト云フ樣ナ事モ書カレテキルノデソノ時分ノ樣子ガ想像サレル。　（伊　藤　洋）

○とげなしのいばら

大正8年3月23日上州榛名山ニ遊ビ、天神峠ニ於テ滑ツテ顚倒シ、側ノ植物ヲ攫ミタルニ、其レガのいばらデアリナガラ、更ニ刺傷ヲ負ハザリシヲ不思議ニ思ヒ、取調べタル所、ソレガ全ク無棘ノモノナルヲ認知セリ。自來烏兎匆々二十有九年ヲ閲セルモ、近頃酒井忠壽氏ガ同方面ヲ硏究シツヽアルヲ聞キ更ニ叙上ノ事情ヲ具シ、其探査ヲ依賴シ置キタル所、氏ヨリ其今尙存スルノ報ニ接セリ。依ツテ昨年同所ヲ訪ヒ、酒井氏ノ案內ニテ遂ニ之ニ再會セリ。依ツテ之ニとげなしのいばらノ新稱ヲ付與セリ。　（久　内　清　孝）

Rosa polyantha Sieb. et Zucc. in Abh. Akad. München. IV-2 (1845), p. 128.

var. **inermis** Hisaûti, nov. var.

Caulis et ramulus inermis. Cetra ut in typo.

Nom. Jap. *Togenasi-noibara* (nom. nov.)

Hab. Tenjin-tôge, Mt. Haruna, prov. Kotuke, Hondo, Nippon. (Leg. K. Hisauti 11 VII, 1937-Typus in Herb. Imp. Univ. Tokyo.)

(K. Hisauti)

○たんぽぽノ花莖分岐

たんぽぽ屬ハ正常型デアレバ、花莖ガ分岐セズ、頂端ニハ1個ノ頭狀花ヲツケルベキデアルコトハ言フマデモナイ事デアル。而シテ從來同屬ニ於ケル畸形トシテ莖ノ帶化等ハ屢々報告サレタ通リデアルガ、花莖ノ完全分岐ハ一寸面白イ現象ト思ハレルノデ此處ニ紹介スル次第デアル。

筆者ハ昭和12年5月朝鮮京城府永登浦漢江岸ノ草叢中ニ於テたんぽぽノ花莖ガ二ツニ